

新幹線プレス

2016年5月16日

No272

発行者

成田隆浩

編集者

教宣部

JR東海労新幹線地本

欠員状態は問題だ！

交番検査周期延伸の新体制問題で申し入れる！

今年3月31日から交番検査の周期延伸に基づく新検査体制がはじまり1ヶ月半が経過しましたが、現場では多くの問題点が明らかになりました。1編成140分作業ではJRも関係会社のSEK作業も時間的に余裕がなく、安全の確保や労災防止のために改善が必要です。

新幹線地本は安全と健康を守り、働きやすい明るい職場とするために問題点の解決に向けて、5月16日に幹鉄事に対して申し入れを行いました。

主な要求項目

- ・ 運転台担当と、グループリーダーの一時的欠員状態の解消を！
- ・ 交番検査施工時お隣の電車は無加圧状態にすること！
- ・ 7番線山側の放送装置を海側へ移設すること！
- ・ 運用調整日（白日）はA交もしくはP交とE交を施工すること。
- ・ 作業服が収納出来るように縦型ロッカーを再度配置すること。
- ・ 車軸清掃作業は清掃機の稼働台数と要員を増やすこと！
- ・ 夜間の車軸清掃作業編成の運用は余裕を持たせたものとする！

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部
本部長 巢山 芳樹 殿

JR東海労幹地申第20号
2016年 5月 16日

JR東海労働組合新幹線地方本部
執行委員長 成田 隆浩

「交番検査周期延伸・交検新体制」の問題点に関する申し入れ

2016年3月ダイヤ改訂以降、3月31日より「交番検査周期延伸・交検新体制」がスタートして一ヶ月半が経った。一本140分の作業は、時間に追われて作業工程に余裕がないことや、特修など担務の一部に欠員状態が発生させることが常態化するなど問題が確認されている。また、作業環境も見直すべき点がある。よって、以下の通り申し入れるので、早急に協議の場を設定し、誠意ある回答をすること。

記

I. 交番検査に関する事項について

1. 一本140分作業での交番検査は、直営も協力会社のSEK作業も含め、時間的に余裕がなく、安全の確保や労災防止の観点から問題があると認識する。特に、運転台作業は140分内で収まらず、休憩時間の変更が常態化している。また、その穴埋めのためにP交では特修班から運転台担当に代行させているため、特修班は一時的に
よって、この解消のために特修班を4名増員すること。

安全と健康を守り、働きやすい明るい職場をつくろう！！